



会員
募集中!

緑光

藤沢市の企業等が環境緑化を推進するための活動を紹介しています

会長より ごあいさつ

春暖の候、会員事業場の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

また、当協議会の令和2年度事業活動においては、新型コロナウイルスの影響での事業形態の変更等がございましたが、皆様のご協力により無事終了出来ました事を、この紙面をお借りして御礼申し上げます。

この1年間を振り返りますと国内での明るいニュースとして、1月に国際地質化学連合で日本由来として初となる千葉県地層『チバニアン』と地質時代の区分の一つとして『国際標準模式地』に正式認定されました。

また、7月にはプロ棋士である藤井聡太七段が17歳11か月での最年少タイトル棋聖戦獲得したニュースがございました。

その反面では新型コロナウイルスというパンデミックが起こり、世界的な未曾有の事態に見舞われました。

本来であれば、オリンピックが開催され日本中が大いに盛り上がっていた年になっていたところですが、企業の事業形態および市民の方々の生活形態も一変した1年となりました。

近年、様々な自然災害に見舞われ、そのたびに自然を前にして、人の力がいかに小さいかを痛感させられました。

昨今、地球温暖化防止の取組み、生物多様性の保全活動等において企業には大きな役割が求められるところであります。

この自然の力を人との生活環境の中で活かす共助していくこと、緑の力を活かすことの大切さを理解し、自然を守ることで次世代に残し、引き継いでいくことで自然への親しみ方からコミュニケーションの場となり、休息、癒しの場となり、自分の楽しみ、生きがいに繋がり、豊かな感性の醸成へと繋がっていくと思っております。

今後も市民の方々と当協議会会員事業場と藤沢市が協力して、環境緑化事業を推進していけば、藤沢市はさらに住みやすく、働きやすく、心豊かな市への発展に繋がっていくことと確信しております。

藤沢市の環境緑化事業において、当協議会の役割を果たすべく、協議会運営を継続していきたいと考えておりますので、今後とも皆様方のご支援とご協力をお願い申し上げます。

2020年度藤沢市企業等環境緑化推進協議会
会長 中野 隆行
アズビル株式会社藤沢テクノセンター



第47回 総会

藤沢市企業等環境緑化推進協議会の第47回総会は、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、書面により開催いたしました。

平成31年度の事業報告、決算報告及び監査報告が承認され、並びに会則の改正、令和2年度役員の改選、事業計画及び収支予算が承認され、無事に審議を終えました。(事務局 記)

緑化技術講習会

日時 令和2年11月25日 14:00~15:30
場所 長久保公園都市緑化植物園
参加数 6社6人

講習名 工場緑化の観点から長久保公園の植栽等の観察及び解説
内容 生物多様性とは?その重要性と保全について
藤沢市における緑化基準の概要
藤沢の自然(郷土の樹木)
講師 長久保公園都市緑化植物園 みどりの相談員 六浦 勉氏

今年はコロナ禍のために時期をずらしての開催で、コロナの発症が増加傾向であることから、今回は講演のみでの開催となりました。

講演のテーマとしては、1.生物多様性とは?その重要性と保全について 2.藤沢市の緑化基準の概要 3.藤沢の自然(郷土の樹木)についてお話を頂きました。

生物多様性について(生物多様性とは? 今なぜ「生物多様性」なのか)では、生物多様性が人類にもたらす恵み、人類に果たす役割が如何に多く重要であるか。緑化基準の概要においては、当初は公害防止のための規制であるが、藤沢市と各企業との継続的取組みにより環境改善が図られ、現在では工場で取り組む緑化が地域の社会貢献となり、企業のイメージ向上に繋がっていること等、我々が取組みを行っている工場緑化の重要性を再認識致しました。

また、藤沢の自然(郷土の樹木)においては、藤沢市全域において常緑広葉樹林帯であること、落葉広葉樹林との混栽が良いとのことで植栽奨励在来樹種をご教授頂きましたので、今後多様性を意識しながら郷土の樹木を増やして行こうと考えております。

昨年までの緑化技術講習会は、座学と実技がセットでありましたので、少し寂しい開催となりましたが、次年度には実技も再開出来ることを切に願っております。(東京ラヂエーター製造株式会社 山路 記)



湘南グリーンコネクション2020

令和2年12月6日(日)秦野市本町公民館にて、湘南グリーンコネクション2020が開催されました。

講演内容は『今こそ緑の力を見直そう -緑の力を活かし、伝えることの大切さ-』(講師:一寸木 肇氏)

2020年の県内の生きもの重大ニュースとして、カシノナガキクイムシという昆虫がナラ菌という病原菌を木の中に運び込むことによって引き起こされる樹木の伝染病、通称:ナラ枯れの猛威があったとのことでした。

その中でもナラ菌で持ちこたえた樹木は来年以降は虫が来ないと説明され、自然の力を感しました。



また、今年は新型コロナウイルスの流行で密閉、密集、密接の3密を避けながら、いまできることは何があるのか?と講師の一寸木氏は、おおい自然園内の建物窓に外から見える形で路傍の草花と題し、ウォーキングをしながら草木など見て楽しんで貰いたいなど、出来る範囲の中で色々な工夫をされており、『3密を避ける方法=何もやらない』のではなく、3密を避ける形でやることを模索していくことも大事なんだと感じた講演でした。

(アズビル株式会社藤沢テクノセンター 中野 記)

第39回 緑と花いっぱい推進の集い

令和2年11月14日(土)

藤沢の緑を守り育て、市民による「緑と花いっぱい運動」を推進していくことを目的とし、藤沢市みどりいっぱい市民の会、藤沢市及び当協議会の3者共催により「第39回藤沢市緑と花いっぱい推進の集い」を藤沢市役所本庁舎5階会議室で開催しました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、規模を縮小しての開催となりましたが、36人の方にご来場いただき、令和2年度「緑と花のまちづくり」の各表彰(緑と花いっぱい功労者、ポスターコンクール、標語コンクール)を行うことができました。

次年度も引き続き、会員の皆様のご協力をお願いいたします。

(藤沢市緑と花いっぱい推進の集い運営委員会事務局 記)



緑地紹介

江の島

藤沢の市街地から目と鼻の先にありながら、江の島には海辺の自然が豊かにあります。

岩場の多い急峻な地形は、湘南の海辺に延々と続く砂浜海岸にはない独特な景観と自然の姿を作り出しています。相模湾から吹きつける海風は植物にとっては過酷です。稚児ヶ淵から見上げる急崖には潮風と照りつける日射しに耐えて、イソギク、ポタンボウフウ、ヒゲスゲ、ラセイトソウなど海岸断崖地に特有な植物が裸の岩肌に貼りつくように生育しています。山二つのあたりでは吹き抜ける風の作用で刈り込まれたかのような樹林の様子を見ることもできます。



稚児ヶ淵の急崖



照葉樹の森



湘南の街を遠望



ラセイトソウ

ヤブツバキ



海岸断崖地の植生



山二つ付近

温暖な気候の島を覆うのは、こんもりとしたスダジイやタブノキなど照葉樹の森です。森の中には伊豆から西日本に至る暖地に見られる植物も現れます。この森は島の民家や神社を守っているかのようです。信仰の場から観光地へ変貌し、海の幸に恵まれた島の歴史と文化は島の自然が育んできたのでしょうか。観光のメインルートではありませんが、島の西側には遠く富士山を望み湘南の街を見渡せる静かな道があり、照葉樹林の中を辿ると江の島本来の自然に包まれたように感じます。

藤沢市自然生態専門員 原田敦子

会員一覧

いすゞ自動車(株)藤沢工場	(株)真田
エムデン無線工業(株)	(株)グリーンテック
一般財団法人同友会藤沢湘南台病院	協同油脂(株)
(株)テクノステート	メルシャン(株)藤沢工場
(株)日東社	ソニーグループ(株)湘南テクノロジーセンター
(株)東京ゴム製作所	NOK(株)藤沢事業場
リバー(株)	日本精工(株)藤沢工場
いすゞライネックス(株)藤沢事業所	(株)ヤクルト本社湘南化粧品工場
オイレス工業(株)藤沢事業場	(株)門倉組
日本ギア工業(株)	ミネベアミツミ(株)藤沢工場
ナショナル・ベンディング(株)湘南第一営業所	(株)須藤製作所
(株)イチネンケミカルズ研究開発センター	(株)佐賀鉄工所藤沢工場
佐藤商事(株)神奈川コイルセンター	NSKマイクロプレシジョン(株)藤沢工場
デノラ・ペルメレック(株)	アズビル(株)藤沢テクノセンター
(株)オシキリ	医療法人社団清心会(藤沢病院・清流苑)
シロキ工業(株)藤沢工場	日東化学産業(株)
プレス工業(株)藤沢工場	日電工業(株)
東京ラヂエーター製造(株)	(株)大峯
(株)イワサワ藤沢ガスセンター	東レ(株)基礎研究センター
(株)ピーケーサービス	池上通信機(株)
(株)荏原製作所藤沢事業所	(株)神戸製鋼所藤沢事業所
中央機工(株)	

藤沢市企業等環境緑化推進協議会では、会員企業を募集しています。

私たちと一緒に“緑あふれるまちづくり”活動に参加しませんか？

加入企業等43社。「緑化技術講習会」「視察見学会」「緑と花いっぱい推進の集い(イベント)」の開催を通じて緑化意識の普及・向上・啓発に努めています。



編集後記

春の訪れと共に桜の開花宣言便りが各地より舞い込む季節となり、近隣の鎌倉山もピンク色に染まり満開となるのを楽しみにしております。

また、機関誌「緑光」75号を無事に発行できたことを心より嬉しく思います。至近時の活動はコロナ禍の中、緊急事態宣言がまだ解除されていない状況で当協議会の活動も大きく制約を受けております。来年度はコロナ禍が解消することを切に願いますが、コロナ禍が継続した場合でも、これまでとは異なる形態にて、緑化意識の普及・向上・啓発に努めて参ります。

これからも編集委員・事務局一同、魅力ある機関紙をお届けしたいと思っております。

(株式会社神戸製鋼所藤沢工場 大石記)

発行 者：藤沢市企業等環境緑化推進協議会

編集委員：(株)神戸製鋼所藤沢事業所、いすゞ自動車(株)藤沢工場、

東京ラヂエーター製造(株)、(株)ヤクルト本社湘南化粧品工場、

東レ(株)基礎研究センター、いすゞライネックス(株)藤沢事業所

事務局：〒251-8601 藤沢市朝日町1-1 藤沢市役所みどり保全課

TEL：0466-25-1111 (内線4352) FAX：0466-50-8421

E-mail：fj1-midori@city.fujisawa.lg.jp

ホームページ：現在調整中

緑光

検索